南田中図書館　映画を通して環境を考える　第27弾

みつばちの大地

MORE THAN HONEY

大昔からミツバチは、植物の花粉を運び、地球上の生命を育んできた。人間もその恩恵を受けており、毎日の食卓を彩る野菜や果物など、私たちが口にしている食物の三分の一は、ミツバチが受粉している。しかしここ十五年ほどの間に、ミツバチが大量に死んだり、失踪したりする現象が世界中で起きている。

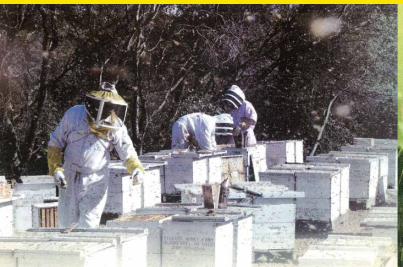
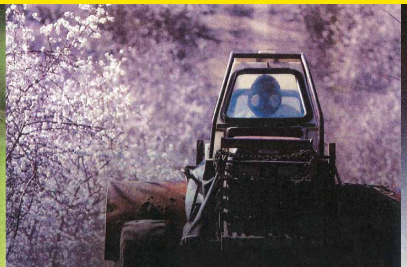
ミツバチはなぜ消えてしまったのか？
その原因はどこにあるのか？

祖父の代からミツバチに親しんできたスイスのマークス・イムホーフ監督は、アメリカ、ドイツ、中国、オーストラリアなど世界各地をめぐり、その実情を丁寧に取材した。祖父との記憶やミツバチへの愛情を織り交ぜながら、人間の活動がミツバチだけではなく地球の多様な生命、ひいては自らの存在をも脅かしている現実を紡ぎだしてゆく。

監督・脚本：マークス・イムホーフ　2012年／ドイツ・オーストリア・スイス合作／91分

平成29年4月8日（土）
13：00〜15：45

会場 南田中図書館2階会議室
定員 40名／参加無料
申込 電話または南田中図書館カウンターにて受付

対談解説 四方繁利氏（映像文化批評家）× 中村純氏（玉川大学ミツバチ科学研究センター主任）

練馬区立南田中図書館　☎ 03-5393-2411
〒177-0035
練馬区南田中5-15-22